



ソフト認定

ヒルトップギャラリー横浜レジデンス



基本情報

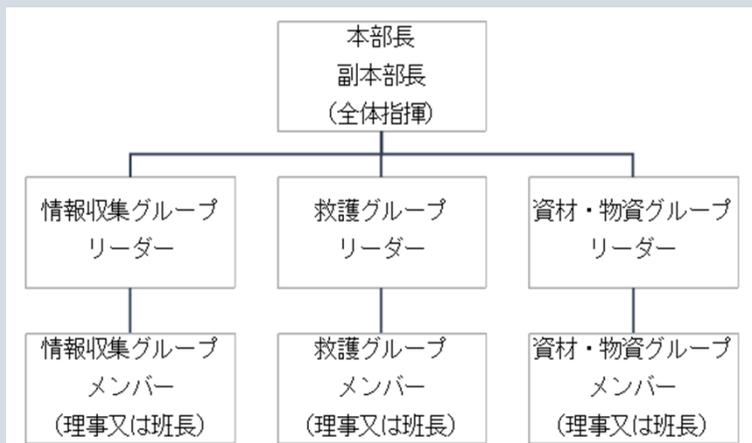
- ① 栄区小菅ヶ谷三丁目
- ② ヒルトップギャラリー横浜レジデンス
管理組合
- ③ 地上13階、地下1階
- ④ 285戸
- ⑤ 既存・分譲

ソフト認定の概要

【防災組織】

管理組合による自衛消防組織のほか、震度5強以上の地震が発生した時及び管理組合理事長等が必要と判断した時には災害対策本部を設置

▶ 防災組織の体制図



【防災マニュアル】

基本事項をまとめた「防災マニュアル」のほか、震災への心構えを示した「震災対策10原則」を各住戸へ配布
さらに本部長及び各グループの初動マニュアルを防災備品庫に保管し、有事の際に速やかに行動できるよう工夫

▶ 震災対策一〇原則

横浜レジデンス管理組合 理事会

震災対策10原則

5つの備えと5つの行動

これだけは準備しておこう！！

- ① 家具の転倒防止・家電の固定・ガラスの飛散防止をする
- ② ライフライン(電気・水道・ガス)が全てダメになっても、最低3日間は自宅で生活できる物資を準備する
 - ・3日分飲料水(一人1日3リットル)、食料、トイレ袋(大人1日5回分)の備蓄
 - ・携帯ラジオ、懐中電灯、乾電池、スマホ用充電器(モバイルバッテリー)
 - ・ペーパータオル類、ラップフィルム、ごみ袋、現金
- ③ 家族との連絡方法を決めておく
 - ・伝言ダイヤル「171」
 - ・携帯電話伝言サービス、SNS等
- ④ 長期ごみ、汚物を保管できる容器、飲料水用タンクを用意する
- ⑤ 災害時に援助が必要な人は、必ず管理組合に届け出しておく

あわてず、すばやく行動しよう！！

- ① 室内の安全な場所に移動し、姿勢を低くして、身の安全を確保する
 - ・火のそばや物が飛んできそうな場所は避けて、部屋の中で安全なスペース(物が多くない場所)を予め決めておく。
 - ・普段から家具の倒れてくる危険がある部屋では就寝しない。
- ② 揺れが落ち着いたら、玄関ドアまたはバルコニー側の窓のサッシを開け、避難路を確保する
- ③ 家族の安全を確認したら、戸外に出て、隣近所の安否を確認し合う
- ④ 『大丈夫です』カードを玄関ドアにかけ、自宅を待機する
余裕がある人は、近隣の情報を持って、管理事務室前に集合する
- ⑤ 非難する場合は鍵をかけ、電気のブレーカーを切り、ガス・水道の元栓を締める

※詳細は配布した「栄防災ノート」をご参照ください。

【防災訓練】

本部設置、初動対応、安否確認等の訓練を実施（令和4年度）

【飲料水等の備蓄】

最低3日間分の飲料水、食料、トイレパック等を各住戸で備蓄